

国立能楽堂

三月

March 2016
National Noh Theatre

ユネスコ無形文化遺産
UNESCO
Intangible Cultural Heritage

平成28年

【特別企画公演】

《復興と文化 特別編——老女の祈り——》

3月25日(金) 午後6時30分開演

3月26日(土) 午後1時開演

延年の舞 **老女** 毛越寺 (若手県平泉町)

復曲能 **名取ノ老女** 梅若 玄祥 (25日)
宝生 和英
大槻 文藏 (26日)
金剛 龍謹

【定例公演】 3月9日(水) 午後1時開演

狂言 **柿山伏** 野村 万禄 (和泉流)

能 **誓願寺** 浅見 真州 (観世流)

【普及公演】 3月12日(土) 午後1時開演

春の「勝修羅」——「田村」と清水寺縁起

狂言 **空腕** 大藏千太郎 (天藏流)

能 **田村** 大村 定 (喜多流)

【定例公演】 3月18日(金) 午後6時30分開演

狂言 **附子** 山本 則俊 (天藏流)

能 **小塩** 金春 安明 (金春流)

予約開始 = 2月9日(火) 午前10時～

窓口販売開始 = 2月10日(水) チケット売場 午前10時～午後6時 ※窓口販売用に別枠でのお取り置きはございません。

〔電話〕国立劇場チケットセンター 〈午前10時～午後6時〉 0570-07-9900 / 03-3230-3000 [一部IP電話等]

〔インターネット〕<http://ticket.ntj.jac.go.jp/> (パソコン)

<http://ticket.ntj.jac.go.jp/m> (スマートフォン) ※詳細は左記ホームページをご覧ください。

●プレイガイド=チケットびあ 0570-02-9999 [PC・携帯] <http://pia.jp/> /e+ (イープラス) [パソコン] <http://eplus.jp/> [ケータイ] <http://eplus.jp/ntj/>

入場料金

定例・普及公演 正面¥4,900・脇正面¥3,200・中正面¥2,700 / 学生: 脇正面¥2,200・中正面¥1,900

特別企画公演 正面¥6,700・脇正面¥5,600・中正面¥4,400 / 学生: 脇正面¥3,900・中正面¥3,100

※全公演字幕付です(日本語・英語)。※障害者の方は2割引です。詳細はチケットセンターまでお問い合わせください。※出演者などの変更の場合はご了承ください。



JR(総武線)千駄ヶ谷駅下車・徒歩5分 都営地下鉄(大江戸線)国立競技場駅下車 A4出口・徒歩5分
東京メトロ(副都心線)北参道駅下車 出口1または2・徒歩7分
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-18-1 TEL.03-3423-1331 (代) <http://www.ntj.jac.go.jp/nou.html>

「袖戸地破七宝齋唐花模様長絹」より

特別企画公演 幕

《復興と文化 特別編》

「老女の祈り」

3月25日(金) 午後6時30分開演

3月26日(土) 午後1時開演

毛越寺の延年 (岩手県平泉町)

老女 藤里 明久

おはなし 小田 幸子

小林 健二

名取ノ老女

国立能楽堂制作・初演

復曲能

梅若 玄祥

大槻 文藏

宝生 和英

金剛 龍謹

松山 絢美

殿田 謙吉

竹市 洋学

澤川 太郎

小鶴 純

大國 真佐人

太鼓 寺禎 友

後見 赤松 禎友

武富 康之

武田 孝史

豊嶋 幸洋

谷本 健吾 小田切 康陽

坂真太郎 山崎 正道

永島 充 観世 喜正

角当 直隆 鈴木 啓吾

監修・台本作成 小田 幸子

演出 大槻 文藏

25日 終演予定午後9時頃

26日 終演予定午後3時30分頃

定例公演 幕

3月9日(水) 午後1時開演

狂言「和泉流」

柿山伏

野村 万禄

炭 哲男

誓願寺

浅見 真州

宝生 欣哉

則久 英志

大日方 寛

野村 万蔵

杉 市郎

吉阪 一純

小国 川七

観 世之丞

浅見 慈一

安藤 貴康 馬野 正基

谷本 健吾 岡 久広

長山 桂三 浅井 文義

北浪 貴裕 小早川 修

終演予定午後3時45分頃

普及公演 幕

3月12日(土) 午後1時開演

解説・能楽あんない

春の「勝修羅」

「田村」と清水寺縁起

田中 貴子

空腕

大蔵 千太郎

大蔵 基誠

田村

大村 昌男

高井 松定

梅村 昌弘

野口 能弘

善竹 大二郎

松田 弘之

曾和 鼓堂

内井 実

谷田 安信

塩津 圭介 内田 成信

友枝 真也 塩津 哲生

佐々木多門 香川 靖嗣

大島 輝久 友枝 雄人

終演予定午後4時頃

定例公演 幕

3月18日(金) 午後6時30分開演

狂言「大蔵流」

附子

山本 則俊

山本 泰太郎

山本 東次郎

小塩

金春 安明

森 常好

森 常太郎

回 善博

山本 則重

山本 庸二

幸 信吾

安福 光雄

三井 元太郎

井上 八郎

中村 昌弘 山井 綱雄

金春 憲和 高橋 忍

本田 由樹 山中 一馬

政木 哲司 本田 芳樹

終演予定午後9時頃

能楽研修発表会「第9回 回青翔会」

国立能楽堂研修生・研究生を中心とした公演

3月14日(月) 午後1時開演

全席指定(有料)

狂言「和泉流」魚説法 上杉 啓太

能「観世流」東北坂口 貴信

舞囃子「高砂」熊坂

(入場料金)

正面 1500円 学生 700円

脇正面 1000円 学生 500円

中正面 700円 学生 300円

予約開始 2月9日(火)

窓口販売開始 2月10日(水)

《復興と文化 特別編 老女の祈り》
東日本大震災から5年を迎える平成28年3月、国立能楽堂は東北・名取を舞台にした廃絶曲「名取ノ老女」を復活上演します。ひたすら神に祈りを捧げる老女の姿、そしてその祈りが通じるといふ奇蹟は、震災を経験した私たちにとって宗教的救済とは何か、「祈り」とは何かを問いかけます。この度の復曲で新たな魅力をもたらした本作にご期待ください。
毛越寺の延年・老女 能の先行芸術として名高い岩手県平泉に残る毛越寺の延年。「老女」は、長命の老女が人生への感謝と将来の平安を神に祈って舞われるとされます。
名取ノ老女 名取の里に住む老女は年若い熊野に詣ることができず、名取の地に熊野三山を勧請して祈りを捧げていました。熊野の山伏が霊夢を蒙り、虫食いで熊野の神詠が記された柵の葉を老女に渡します。老女は随喜の涙を流し、法楽の舞を舞うと、熊野権現の使役神・護法善神が現れて老女を祝福し、国土安穩を約束して去って行きます。
柿山伏 木に登って柿を盗み喰いしているところを持ち主に見つかってしまった山伏は、歌舞の菩薩、和泉式部
誓願寺 熊野三山に参籠した一遍上人は霊夢を蒙り、都・誓願寺へと至ります。「南無阿弥陀仏」の名号の功德を説くと、目の前には歌舞の菩薩となった和泉式部が現れ、浄土曼陀羅の如く壮麗な情景を映してみせます。
空腕 臆病者の太郎冠者は物影におびえ、借りた太刀を差し出さずしてしまいます。帰って主人に話したのは空腕立て(嘘の腕自慢)で…。桜の花蔭に立つ古の武者姿
田村 征夷大將軍・坂上田村麿の武勇譚。前半は田村麿に縁ある清水寺の故事来歴を桜の美しさとともに述べ、後半は鈴鹿山での鬼退治にまつわる霊験譚を語ります。
附子 猛毒の附子を預かり留守番する太郎冠者たちは、附子の正体が気になって…。
小塩の追憶に咲く恋物語
小塩 京都大原野・小塩山の花見に現れた風流な老人の正体は、在原業平の霊でした。桜華やぐ春の宵、業平は「伊勢物語」の和歌を引きながら昔を偲びます。